

高津川から安蔵寺山頂上へ——

SEA TO SUMMIT®

TAKATSUGAWA 2011



た か つ が わ
高津川

9/23 - 24 祝 土

開催場所：島根県高津川流域 益田市・津和野町・吉賀町
(モンベル フレンドリバー高津川)



KAYAK 10km



BIKE 35km



HIKE 10km

主催／高津川 SEA TO SUMMIT 実行委員会（事務局／高津川フレンドリバー協議会）

後援／島根県、益田市、津和野町、吉賀町

オフィシャルウェブサイト <http://www.seatosummit.jp>

※「Sea to Summit / シー トゥー サミット」は株式会社モンベルの登録商標です。

高津川 SEA TO SUMMIT® 2011 大会に寄せて

SEA TO SUMMIT
連絡協議会理事長

モンベルグループ代表

辰野 勇

東日本を襲った未曾有の大震災。

一瞬にしてかけがえのない家族を失い、跡形も無く消え去った集落に取り残された人々。

自然の恵みに育まれ、生かされてきた人々が今、その荒ぶる猛威の前に、成すすべもなく立ちすくむ。気仙沼で牡蠣の養殖を行い「森は海の恋人」を提唱した畠山重篤氏もご母堂を津波で亡くされました。

人間の英知をはるかに超えた大自然の営みに対して、おののきをいだし、敬わずにはおられません。

それでも人々は、未来を信じて立ち上がり、復興への一步を踏み出しました。

「シートゥーサミット」は、そんな自然と人間のかかわり方のあるべき姿を、海から頂上を目指しながら汗をかき、今一度みんなで考え、被災地の皆さんに応援のメッセージを届けたいと考えています。

大会長

島根県知事
溝口 善兵衛

「高津川 SEA TO SUMMIT」に参加される皆様に、心から歓迎申し上げます。

高津川での開催は、昨年に続き2回目となります。昨年は県内外から132名の皆様の参加があり、高津川流域の豊かな自然を楽しんでいただきました。

国土交通省より7月に発表のありました全国にある1級河川の平成22年水質ランキングによりますと、高津川は3年ぶりに「水質日本一」となりました。これは、平成18年・19年の2年連続日本一に続くものであります。

高津川は、古くから流域の人々の暮らしと深く関わってきた川であり、現在も私たちに多くの恵みをもたらしてくれています。春から夏にかけては天然のアユが遡上し、全国からの多くの釣り人で賑わい、秋にはモクズガニ漁が盛んに行われます。

また、上流部では清涼な気候や水を利用したわさび栽培が行われ、中流部では高津川からの水を利用した畑で、メロンやイチゴ、トマトなどの特産品が栽培されています。そして、下流部の河口付近の海岸では、直径7センチ以上の大ハマグリが特産となっています。

これらの高津川の恵みは、その環境が良好に保たれていることによりもたらされるものであります。流域では、環境維持の大切さを深く理解し、水質をさらに良くするために、清流の源である森林の整備や有機・エコ農法への取組、バイオマスエネルギーの活用推進、EM菌ダンゴ投入による河川浄化などの活動が熱心に行われています。

「SEA TO SUMMIT」は水の流れを遡り、海から山へと進む中で、自然の循環を考える環境イベントです。高津川は、このイベントを開催する場所として最もふさわしく、参加される皆様には、「高津川を遡るカヤック」や「高津川に沿ってひた走る自転車」、「安蔵寺山を目指す登山」を通じて、自然との一体感を感じていただけたと思います。そして、自然のすばらしさや環境を守ることの大切さを実感していただければ幸いです。

皆様の島根へのお越しを心よりお待ちしております。



実行委員長

益田市長
福原 慎太郎

はじめに、「高津川SEA TO SUMMIT 2011」を開催するにあたり、多くの企業・団体・ボランティアスタッフの皆さまからご支援・ご協力いただきましたことに対し、心より感謝申し上げます。

本年7月に国土交通省より発表された水質ランキングにおいて、高津川は3年ぶりに水質日本一へ再び咲きました。これは流域をはじめ多くの「高津川応援団」の皆様のご努力とお力添えの賜物であり、厚くお礼申し上げます。

「高津川SEA TO SUMMIT」は、カヤック10km、自転車35km、ハイク10kmの全長55kmと、現在開催されているSEA TO SUMMITの中では最長のコースです。日本海の朝焼け、透き通った清流高津川、沿道の温かい声援、安蔵寺山をはじめとした豊かな自然など、高津川流域の魅力がいっぱい詰まっています。ぜひ体調を万全にいただき、それぞれの楽しみ方でゴールを目指していただきたいと思います。

付け加えまして、本年も多彩なゲストをお招きしての環境シンポジウムや応援イベントを企画しております。応援イベントでは、地元産直ブース「マルシェ高津川」にも、ぜひお立ち寄り頂き、高津川の豊かな食を堪能して頂ければと思います。

最後に、高津川流域の自然を舞台に繰り広げられるSEA TO SUMMITを通じて、全国の皆さまと流域住民の交流が深まり、新しい価値観を発信できる有意義な2日間となることを願い、ごあいさついたします。



高津川 SEA TO SUMMIT® 2011

開催要綱

主催 高津川 SEA TO SUMMIT 実行委員会(事務局・高津川フレンドリバー協議会)

後援 島根県、益田市、津和野町、吉賀町

協賛 株式会社モンベル、サントリー食品インターナショナル株式会社、
日本ゴア株式会社、コカ・コーラウエスト株式会社、森永キャラメル ハイソフト、
日本ヒューレット・パッカード株式会社、株式会社ロブテックス、
大山ハム株式会社、株式会社オージーケーカブト、アリスト販売株式会社、
株式会社キャットアイ、株式会社ジュンテンドー、SOYO TYRE、フジ矢株式会社、
長谷川工業株式会社、ウィルダネスシステムズ、キャメルバック、ジェットボイル、
ハイギア、SUN COMPANY、海快晴(株式会社サーフレジェンド)、株式会社インターマックス



大会期日 2011年 9月23日(祝) 9月24日(土)

会場 9月23日 道の駅 シルクウェイにちはら(雨天決行)
9月24日 高津川河口(スタート)、エコビレッジかきのきむら(表彰式・閉会式、雨天決行)
海のステージ[カヤック]高津川河口 ~ 益田川河口折り返し ~ 飯田角井大橋下 約10km
里のステージ[自転車]飯田角井大橋下 ~ 道の駅 シルクウェイにちはら
~ 左^{さぶみ}鐙^{さぶみ}小学校 ~ 杣^{そま}の里^{そま}よこみち 約35km
山のステージ[ハイク]杣^{そま}の里^{そま}よこみち ~ 奥谷登山口駐車場 ~ 安^あ蔵^{そう}寺^じ山頂上 約10km
※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

定員 100組(※エントリー受付は終了しております。)

参加費 シングルの部：¥15,000(税込)／チームの部：¥9,000×人数(税込)

東日本大震災復興義援金¥500を含む

※環境保全協力金として集める予定にしていた500円は、東日本大震災の復興支援の義援金とさせていただきます。ご理解賜りますようお願いいたします。

参加資格 ●健康な方で、参加者全員分のカヤック装備(PFD/ライフジャケットを含む)、自転車装備(ヘルメットを含む)、
水分補給のための給水用装備(ハイドレーション・システムなど)を用意できる方
●シングルの部:高校生以上の方、チームの部:中学生以上の方
●大会事務局より大会参加承認を受けた方

※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。※年齢は大会当日を基準とします。

日程 9月23日(祝)

【会場】道の駅 シルクウェイにちはら

11:00~13:30 大会受付

14:00~ 開会式

14:30~ 環境シンポジウム

16:30~ 大会説明

17:00~ 前夜祭ライブ

【会場】高津川河口・飯田角井大橋下

18:00~20:00 カヤック、自転車搬入

※20:00以降の搬入は行っておりません。
20:00以降となる場合は、翌日24日に行ってください。

9月24日(土)

【会場】飯田角井大橋下

4:00~ 自転車搬入

【会場】高津川河口

4:30~ カヤック搬入

5:30~ 大会スタート※カヤックスタートは6:00です。

【会場】エコビレッジかきのきむら

12:00~ イベント会場オープン

15:00~ 応援イベントスタート

17:30~ 表彰式・閉会式・

参加者集合写真撮影

19:30 終了

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

制限時間

・12:00までに杣の里よこみち(約45km地点)
・13:30までに奥谷登山口駐車場(約50km地点)
・14:30までに登山道途中の確認ポイント(約52km地点)を通過すること
※詳しくは、次ページの地図をご覧ください。

株式会社サーフレジェンドの協力により、イベント専用モバイルサイトがオープンいたします。サイト内では、大会の主要ポイントにおける気象情報について、天気はもちろん、風や波などの情報をわかりやすくご案内します。

また、『高津川 SEA TO SUMMIT 2011』に関する最新情報を、このモバイルサイトより随時発信していきます。是非ご活用ください。



mont-bell

株式会社モンベル

<http://www.montbell.jp/>

総合アウトドアメーカー。「Function is beauty」と「Light&Fast」をコンセプトに高機能登山用品とアウトドア用品全般の開発・製造・卸・販売を行っております。

SUNTORY

サントリー食品インターナショナル株式会社

<http://www.suntory.co.jp/>

高津川の豊かな自然と澄んだ美しい空気を満喫しながら充実したひと時を過ごされますよう、サントリーも応援しています！

Hi-SOFT

森永キャラメル ハイソフト

<http://morinaga.co.jp/hi-soft/>

森永キャラメル ハイソフトは良質な糖分とカロリーを効率よく摂取できるので海・山・川の行動食にぴったり。あなたのアウトドアライフを応援します。今ならモンベル商品が当たるキャンペーンを実施中。



日本ヒューレット・パッカード株式会社

<http://www.hp.com/jp>

日本ヒューレット・パッカードは、環境に優しいHP Latexインクを採用した大判プリンターで環境・人に配慮した掲示物の作成に参加いたしました。



株式会社オージーケーカブト

<http://www.ogkhelmet.com/>

「Safety Meets Style」安全性能×スタイルの、独創的プロダクトへ。常に「安全性」と「スタイル」を融合させながら、あらゆる人に親しまれる独創的な商品開発に取り組み、ともに走りつづけてまいります。



アリスト販売株式会社

<http://www.arist.co.jp/>

クエン酸サイクルに基づき開発された10年以上の実績を誇る、回復系飲料のロングセラー。1ℓで梅干し約12個分のクエン酸とアミノ酸、ビタミン、ミネラルなど40種類の成分を配合しています。



SOYO TYRE

http://www.daiwabo.co.jp/catalog/sozai_08.html

競輪用タイヤの国産オンリーワンブランド SOYO! どこにも縫い目のないシームレス技術は日本最高峰のクラフトマンシップ！



FUJIYA®

フジ矢株式会社

<http://www.fujiya-kk.com/>

クオリティーファーストのフジ矢です。ペンチを作っています。高津川 SEA TO SUMMIT 2011に参加。高津川の自然を楽しませていただきます！



キャメルバック

<http://www.camelbak.com/>

20年近くにわたり、ハイドレーションシステム技術の最先端を担ってきたブランド。ハイドレーションシステムの世界NO.1ブランドとして広く知られています。



JETBOIL

ジェットボイル

<http://www.jetboil.com/>

アメリカで数多くの賞をおさめた、保温クッカーと熱効率の高いストーブがセットになった簡単便利なアウトドア用調理器具です。

海をつたえる、笑顔をつくる。



海快晴(株式会社サーフレジェンド)

<http://pc.umikaisei.jp/>

2008年4月より海専門の気象情報モバイルサイトをスタート。「高津川」SEA TO SUMMIT 2011「専用モバイルサイトを開設いたします。



株式会社インターマックス

<http://www.intermax.co.jp/>

スポーツサイクル関連の輸入しています。ロードレースに使えるハイエンドモデルから、スニーカー感覚で普段使いが出来る物まで様々なニーズに応えられる商品をご提案。



日本ゴア株式会社
<http://www.gore-tex.jp/>

身体を常にドライで快適に保つゴアテックス®プロダクト(製品)は世界中のアウトドア・シーンで、揺るぎない信頼と実績を確立しています。



コカ・コーラウエスト株式会社
<http://www.ccwest.co.jp/>

飲料を通じて価値ある「商品、サービス」を提供することで、お客さまのハッピーでいきいきとしたライフスタイルと持続可能な社会の発展に貢献します。



株式会社ロブテックス
<http://www.lobtex.co.jp/>

私たちロブテックスは今年で創業123年になる作業工具メーカーです。大会に参加される皆様のご無事と完走を願っております。私たちもチームで参加します!



大山ハム株式会社
<http://www.daisenham.co.jp/>

2011年ドイツ農業協会主催国際品質競技会7年連続金賞受賞の「カントリーロースト」を中心に、自然の恵みをいっぱいを受けたハムやソーセージを食卓にお届けします。



株式会社キャットアイ
<http://www.cateye.co.jp>

自転車用のリフレクターや、走行データ・心拍などを計測するサイクルコンピュータの他、LEDを照明に採用するなど自転車の進化に貢献している開発型製造メーカーです。



株式会社ジュンテンドー
<http://www.juntendo.co.jp/>

「暮らし、いきいきジュンテンドー」として親しまれ、中国、近畿地方においてホームセンターを運営している企業です。高津川水系の自然と親しんで楽しいひと時を過ごされますよう応援しています。



長谷川工業株式会社
<http://www.hasegawa-kogyo.co.jp/>

大阪に本社をおく、はしご、脚立のバイオニア。アルミを使ったはしご、脚立、踏み台など、高品質で安全性の高い製品を全国のお客様にお届けしております。



ウィルダネスシステムズ
<http://www.wildernesssystems.com/>

アメリカのカヤックブランド。シットオンカヤック、フィッシングカヤック、ツーリングカヤックに至るまで最高の素材を使用し、より良いパフォーマンスを発揮する製品づくりにこだわっています。



ハイギア
<http://www.highgear.com/>
アメリカのメーカー。高度計、気圧計、コンパスなどを搭載したアウトドア愛好家のための高機能ウォッチ。



Sun Company
<http://www.suncompany.net/>
アウトドアの中で役立つ斬新なアイデアを持った小物を、1971年から次々と世に送り出しているユニークなアクセサリメーカー。

実行委員会

島根県、島根県西部県民センター、益田市、津和野町、吉賀町、益田地区広域市町村圏事務組合、益田商工会議所、美濃商工会、津和野町商工会、吉賀町商工会、益田市観光協会、美都町特産観光協会、匹見町観光協会、津和野町観光協会、吉賀町観光協会、漁業協同組合JFしまね、高津川漁業協同組合、益田サイクリングサークル、清流高津川日本一を祝う会、NPO法人アンダンテ21、NPO法人浜田ライフセービングクラブ、高津川大学、にちはら自然の会、株式会社石西社、高津川フレンドリバー協議会、株式会社モンベル

環境シンポジウム

参加無料

9月23日 祝

場所：道の駅 シルクウェイにちはら

14:30～15:10 基調講演「東日本大震災の教訓 ～防災と野遊びのススメ～」

辰野 勇 (SEA TO SUMMIT 連絡協議会 理事長／モンベルグループ代表)

15:15～16:15 パネルディスカッション「環境、そして食すること、生きること」

【パネリスト】内田正洋 (海洋緑化協会キャプテン)・福原圧史 (NPO 法人ゆうきびと代表)・河島翔馬 (シンガーソングライター)

【モデレーター】辰野 勇 (モンベルグループ代表)



内田 正洋

1956年 長崎県大村市生まれ。
1987年から日本のシーカヤック界を牽引してきた。
2009年 海の砂漠化防止を目的とした海洋緑化協会を設立。緑の海、かつての美しい海を取り戻す活動として全国で講演会、シンポジウムを開催している。



河島 翔馬

故・河島英五氏の長男。自然保護団体に助成金を出資する「河島英五記念基金」を設立し代表を務める。自然保護を訴えるライブ活動『自転車で行く！全国縦断チャリティーライブ』を企画。



福原 圧史

NPO法人「ゆうきびと」代表。1949年島根県吉賀町柿木村生まれ。1972年より柿木村役場勤務。自給を優先した山村の小農運動を模索。1980年生産者と消費者の提携を開始し、1981年に柿木村有機農業研究会を設立。1991年柿木村総合振興計画で「健康と有機農業の里づくり」が位置付けられる。2009年3月に吉賀町役場を退職。現在、有機無農薬栽培で水稲40a、野菜25aのほか果樹、山菜、農産加工など自給を確立した農業を営んでいる。



辰野 勇

1947年 大阪府堺市生まれ。
1969年 アイガー北壁日本人第二登を果たす。
1975年 株式会社モンベルを設立。
2007年 代表取締役会長就任。

16:30～16:50 大会説明

17:00～17:40 前夜祭ライブ

(出演：河島翔馬・河島アナム・岡嶋直樹)

※ 24日(土)は 15:00 より閉会式会場にて応援ライブを開催します。



河島 アナム

自身のライブ活動や楽曲制作、弟・河島翔馬のサポートや元とせさんへの曲提供、子供番組への曲提供など。マイベースを心がけつつ励んでいます。



岡嶋 直樹

パワフルなサウンド、即興的なインスピレーションに満ちた表現が幅広いジャンルに対応するストロングスタイルSaxプレイヤー。

大会MC



御秒 奈々

島根県松江市出身。関西を中心にタレント・モデルとして活躍中。現在、ABC「おはよう朝日です」「ピーパップ！ハイヒール」、CX「1年組 平成教育学院」などに出演。また、2011年9月には、「神戸コレクション 2011 AUTUMN/WINTER」にモデルとして出演。

会場案内・アクセス

◎開会式、環境シンポジウム

【会場】道の駅
シルクウェイにちはら

- ・浜田自動車道・浜田ICから国道9号線を津和野町方面へ約60km
- ・中国自動車道・六日市ICから国道187号線、国道9号線を益田市方面へ約39km



◎大会スタート地点

【会場】高津川河口(左岸)

- ・浜田自動車道・浜田ICから国道9号線を益田市方面へ約45km
- ・中国自動車道・六日市ICから国道187号線、国道9号線を益田市方面へ約58km



◎閉会式(表彰式)、販売(地元特産品、飲料)

【会場】エコビレッジ
かきのきむら

- ・中国自動車道・六日市ICから国道187号線を益田市方面へ約18km
- ・益田市から国道9号線、国道187号線を吉賀町方面へ約40km



【お問い合わせ】

SEA TO SUMMIT 連絡協議会 事務局 (株式会社モンベル 広報部内)
TEL/06(6531)5524 FAX/06(6531)5536 〒550-0013 大阪市西区新町 1-33-20

オフィシャルウェブサイト

<http://www.seatosummit.jp>